

病害虫防除技術情報第15号

平成 22 年 10 月 15 日
三重県病害虫防除所

ネギのネギハモグリバエ、ネギアザミウマが多発しています

- 1 対象作物：ネギ
- 2 害虫名：ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ
- 3 発生状況
 - 1) 現地圃場での 10 月上旬におけるネギハモグリバエによる被害葉率（6 か所平均）は 36.5% で、平年（8.9%）に比べて多くなってきました。
 - 2) 同様に、ネギアザミウマによる被害葉率（6 か所平均）は 37.8% で、平年（8.2%）に比べて多い状況が続いています。

表. ネギハモグリバエとネギアザミウマによる被害状況（10 月上旬調査）

調査場所	被害葉率（%）	
	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ
松阪市松名瀬町 1	62.0	26.7
松阪市松名瀬町 2	40.0	51.3
伊勢市東豊浜町 1	12.7	39.3
伊勢市東豊浜町 2	42.0	31.3
伊勢市東豊浜町 3	58.7	65.3
伊勢市東豊浜町 4	3.3	12.7
平均	36.5	37.8
平年	8.9	8.2
平年比	多	多
松阪市嬉野川北町 (定点・無防除)	32.0	80.7

各圃場 150 葉（50 株×3 葉）を調査。

平年値は過去 10 年間（平成 12～21 年）の平均。

- 4 防除上の注意事項
 - 1) ネギハモグリバエによる被害は、成虫では一列に並んだ白い点（食害痕および産卵痕）となり、幼虫では葉の内部から食害するため白く細長い線状になります。
 - 2) ネギアザミウマによる被害は、成幼虫が葉の表面を食害するためカスリ状に白くなります。多発すると葉全体が白くなり、生育不良となることもあります。
 - 3) いずれの害虫も多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
 - 4) 必要な場合は展着剤を加用し、薬液が葉面によくかかるように、ていねいに散布してください。
 - 5) 農薬は、ラベルの表示を確認して正しく使用してください。